

《別 紙》

1. 開催年月日 令和7年5月19日(月)開催
2. 開催場所 エフエム西東京 1階 会議室 (東京都西東京市芝久保町5-8-2)
3. 出席委員
委員総数 7名
出席委員 2名 下川隆委員長 松川紀代実委員

欠席委員 5名 山本恒安委員 野澤秀夫委員 賀陽智之委員 村田志保委員
(事前に意見書提出あり) 小松真弓委員

放送事業者側回答者

佐藤芳幸(代表取締役) 大塚誠(統括部長 局長) 高橋絵里(制作室)

4. 議 題

審議番組 なごえりフォークソングステーション
パーソナリティ：フォーク歌手 和/Nagomi・絵里
毎週水曜日午後17:00～19:00 田無駅改札横のまちテナスタジオからお送りする情報、
音楽・トークの2時間生放送番組。
60年代～80年代を彩ったフォークソングとニューミュージックの名曲をお聴きいただきます。
フォーク歌手、和/Nagomiがギター生弾き語り、皆様からのリクエスト投稿に応える生放送番組です。

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音した音声を聴いていただき審議。

6. 審議内容

審議委員意見

- ・オープニングのアクシデントも明るく話していたので気にせず聞けた。
- ・フォークを若い世代にも伝えていきたいという気持ちが伝わり、懐かしく聞くことができた。
- ・もう少し音楽が多くあったら良かった。
- ・吉田拓郎さんの曲がかかったが一番メジャーな「結婚しようよ」だったので、もっといい曲がたくさんあるのでそちらも紹介していただきたかった。
- ・曲のエピソードをもう少し話して欲しかった。もっとマニアックな番組でも面白いと思う。
- ・フォークソングが持つ懐かしさに加え、お二人の飾らないトークが相まり、まるでリビングでくつろいでいるような心地よさを感じる番組だった。
- ・生放送ならではの交通情報が入ることで、現実に戻されるような感覚になることもあった。
- ・歯に関する話題がやや長く感じられ、これが番組の通常のスタイルなのか気になるところ。
- ・楽曲にまつわるエピソードや当時の時代背景(芸能関係や事故等)などをもう少し詳しく紹介していただければ、番組に一層深みが増すのではないかと感じた。
- ・リスナーが「カボタスト」について自ら調べる場面からは、パーソナリティとリスナーとの距離の近さを感じた。
- ・お二人のお話の掛け合いがとてもスムーズで、聞いていてとても心地よかった。
- ・YouTubeやInstagram、Xのデザインも洗練されていて、本気で取り組まれている熱意が伝わった。
- ・一曲目の後に交通情報、天気情報がすぐに始まったので楽曲の後に少し余韻があればと感じた。また、その後フォークソングの話題に入るまでに少し間があったように感じた。
- ・歯医者さんの話が少し長めだった印象だった。
- ・「結婚しようよ!」(吉田拓郎)「結婚するって本当ですか?」(ダカーポ)などを聴き古き良き昭和の時代を懐かしく思い出した。
- ・パーソナリティのお二人がとてもお話(活舌)が上手で、心地よく聴くことができた。
- ・2時間生放送だが、途中で道路・鉄道や天気情報などもはさむので場面転換になりいいと思った。
- ・西東京市に縁のある方がパーソナリティなのは嬉しいことでありコミュニティFMらしい。
- ・生放送らしく、リスナーからすぐにメッセージが届き(カボタストの名前の由来)、そのやり取りがまさにライブ感のある放送だった。
- ・生放送だが発言内の言葉や音の強弱で、気になる点はなく安心して聞けた。
- ・地元の方の番組、ぜひこれからも続いてほしい。今度はスタジオを見学に行きたいと思った。

局の回答

4月からスタートした新番組。フォークソング歌手の和さんと、新社員でもある高橋絵里との番組を地域情報も放送する夕方生放送番組としてスタートさせた。
冒頭に音楽が出なかったのは、ヒューマンエラーではなく突然の機材トラブルだった。
フォークソング歌手の和さんと絵里さんがコンビで喋る番組は（他局で）6年前からやっていた。
①どれだけ若い人にフォークソングを知ってもらうか
②今まで聞いてきた人に楽しく思い出しながら聞いてもらえるか
③音楽がどんどん発達していく中でフォークソングを残していきたい
という3つの柱で和さんは活動しており、それに賛同した高橋とフォークソングに特化した番組をやっていこうと始めた。台本を作らずにフリートークで2時間進めている。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
なし
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
自社放送 事務所への備え置き、自社HPでの掲載
9. その他の参考事項
なし